

令和元年度 第2回 大阪市障がい者施策推進協議会 障がい者計画策定・推進部会  
議事要旨

日 時 : 令和2年2月13日(木) 午前10時から正午まで  
会 場 : 大阪市役所 屋上階 P1 共通会議室

【議題(1) 2019年度大阪市障がい者等基礎調査の状況について】

《 資料1について説明 》

- ・ 身体障がい者の内訳を視覚の障がい、聴覚の障がい、肢体の障がいなど細かく集計しないとどんな施策が必要か見えにくい。
- ・ 重症心身障がいの方の独特な暮らしにくさや困難さがわかる集計をしてほしい。
- ・ 医療的ケア児の医療に関する困りごとで「小児期から成人期へ移行するときの医療について心配」が多い結果となっているので、子どもから大人まで連続性があることを見越した検討が必要。
- ・ 発達障がいでも精神障がいや知的障がいを併せ持つ方などもいるので、発達障がいの調査票だけでなく本人用の調査票でも発達障がいにかかる分析を行ってほしい。

【議題(2) 次期大阪市障がい福祉計画・障がい児福祉計画の策定及び大阪市障がい者支援計画の中間見直しについて】

《 資料2について説明 》

- ・ 今後、大阪市がどうなるのか市民は心配している。住民投票のための情報提供として意味を含めて、計画の中でも区割りになった時のことを想定して、影響、課題を含めて提案することは考えているのか。  
⇒今回の支援計画の見直しについては、変更するつもりはない。
- ・ 現在、大阪市でも地域福祉計画を作られて、各区でもそれに基づいて地域での包括的な視点で計画が作られている。この包括的な計画との連動性が必要と思うが、資料の中で一文も触れられていないのが気になる。
- ・ 就労系サービスについて、厚生労働省から就労継続支援A型の経営改善計画について全国的な集計が公表されているが、大阪市は低い数字だった。福祉計画の策定にあたっては、適正な数値目標と適切な事業所に対する指導とか支援がセットでなければいけない。そういう事も鑑みて、支援の質についても大阪市独自で障がい福祉計画の中に目標値を設けるなど施策を検討していただきたい。

【議題(3) 第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画の進捗状況について(報告)】

《 資料3について説明 》

- ・ 地域移行は、入所による親の安心が重要視され本人の意向が反映されないことや、経済的な問題がある。兵庫県はグループホームでの補助金や、医療型グループホームの検討など地域移行が進んでいる。大阪市として地域移行しても経済的に成り立つ補助をしてほしい。

- ・ 地域移行について、個人給付のような補助が難しい場合、グループホームの設置など運営そのものの支援の促進を考えてほしい。
- ・ 入所施設かグループホームか居宅かという暮らしの場の問題について、大阪市内で暮らし続けていくために、入所施設かどうかだけでなく、住み慣れた地域で暮らし続けていくにはどうしたらいいのかという視点で考えて行くべき。
- ・ 施設入所者の地域生活への移行について、児の施設に入所している加齢児の問題についても目標値、達成数を明確にすべき。